

993 行
2019年
12月25日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
清野 聡
編集責任者
教 宣 部



積み重ねが大きな成果に 地本・組織強化・拡大対策会議開く



現状および報告について

加藤組織部長

今年度でエルダーと本体との組織状況が逆転する。新潟では拡大が無いが他地本では国労加入がある。

グループ会社からの加入や貨物会社で国労加入が目立つ。拡大について難しい状況がつづいている。組合員が転在している。

職場では未加入者を会社が組合加入させない実態だ。

何から始めていったらいいのか～職場代表選挙への立候補をすること。グループ会社へ出向している組合員は、会社内に組合はあるが職場で問題が発生した時、国労としてどう関わっていくのか。

労働条件改善を含めて取組みを進めていくこと。そして国労をアピールしていく。

取組みの積み重ねが大きな成果になっていく。組合員の助役発令があった。職場では企画担当や技術管理など担当している。



地本・組織強化・拡大対策会議が12月14日13時より地本会議室で開催しました。加藤組織部長の開会あいさつでスタートしました。
どう進めていくのか
はじめに福富書記長から「地本としてどう取組みを進めていくのか。具体的な行動について方針を決めるのか、全体の議論の中で進めていきたい」とあいさつがありました。

4名退職する・車掌
分会の状況について、現職が2名あとはエルダーだ。1月末に指導担当からエルダーとの交流会

運転協・東日本本部の交流会が新潟県・湯沢で開催された。今回は新潟地本が担当だった。
新潟地本の運転協・定期委員会は3月14日に開催する。役員体制が難しい状況だ。役員の選出が厳しい。職協として活動ができなくなる。看板だけは残す。その後の具体的な活動については旧役員が対応することになる。

全体の意見

が開催される。懇親会もある。職場では、若い人はグループに分かれ活動させられている。転勤が不安なのでグループで活動している。
ジョブローテーションの導入で将来が不安で4名車掌が退職する。(若手3名・中堅1名)。魅力が



なくなつたのではないかと判断。そのため職場は要員が欠員で仕事まわらない。
いつ事故が発生してもおかしくない
工務の職場は要員が少ない。工

務の定期委員会で職場の実態が報告された。線路の状態が悪い、ポルトなど折損している。
モニタリング・現場ではデーターを分析するまで6週間かかる。湯沢の職場では業務内容は前と同じだが要員が30数名から9名になって厳しい労働環境になっている。
超勤は線路グループで多い月で平均35・5時間で年間330時間を超えている。
米坂線、磐越西線は要員が少なく厳しい状況だ。8月1日に20項目の要求を申し入れたが交渉日程が決まらない。

仕事が終わらない

12月15日付で湯沢センターの職場で退職する。助役はエルダーでも業務は変わらない。それでも良いのか。
若手の研修がすごく多い。要員がまわらないのに研修日程が入る。線路の実態がものすごく悪い、いつ事故が発生してもおかしくない。

裏面につづく



年休が流れる

NTSに出向している。要員が足りないのので年休が取得できず流れる。若手の研修が入るので仕事が終わらない。

NTSの若手が育たない、現在出向者が会社を支えている。JR本体よりも忙しい状況だ。若手は仕事ができない。現場は、仕事に対してNTSとJRからの出向者との気持ちが違う。

会社は仕事を減らすことしか考えていない。

客・貨一体の 取組みができた

貨物会社の年末手当闘争・取組みはいろいろやってきた。現場長への申し入れ、社長宅への訴えハガキを発送した。客・貨一体の取組みが出来た。

冬季体制の提案が11月18日に関東支社からあった。12月17日に支社交渉する。新潟から6項目の要求を上げた。

12月2日分会大会を開催し役員体



制が確立された。

精神的な不安に なっている

職場では社員の出入りが多い。乗務員など見習いに来て1本になると他の職場へ転勤する。

ジョブローテーションの中堅クラスはどこかへ転勤させられるのではないかと思っている。転勤することが優先され、その後の職場のことを考えている。

車両故障が多発している。11月から12月までで事象が多発している。



地本旗開き

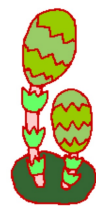
1月18日

学習会 10時30分～

旗開き 12時15分～

学習会の内容は組織関係で講師は東日本本部・渡辺副委員長です。

旗開きは、今回はビンゴゲームを企画しました。賞品はJAL闘争の物販です。会場は地本事務所で開催します。よろしくをお願いします。



ジョブローテーションなどで精神的に不安になっているので事故が発生しているのではないか。

出席者から職場の状況や仕事の実態など多く報告がありました。

加藤組織部長から 国労の存在意義を出す

職場の変化を感じ取る・それは会社の施策についてのほころびではないか。国労がどう関わっていくのが。職場の労働条件改善を取り組み良くしていくこと。国労の存在意義を出していくこと。

本体に残っている組合員は職場代表選挙に立候補する。他労組との連携で会社側の立候補者を勝たせない活動を進めていく。
(職場代表者の任期は1年)

ちよこやさん

天気良かったから

12月は秋山郷へは行かないつもりでしたが天候が良く気温が上がりの日しか無いと思い車を走らせました。道路状況は、心配していましたが十日町市、津南と雪がまったくありませんでした。(良かった)。

「津南」は超辛口で美味い

行きに津南酒造へ寄って酒を(霧の塔)買いました。今回は「津南」と「生原酒」を買いました。帰ってから「津南」を飲みました。超辛口で切れが良くて美味かったです。

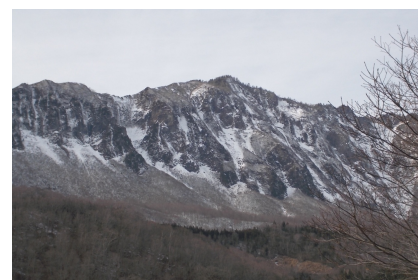
そして「見玉不動尊」に行ってお参りしてきました。境内は雪囲いをしていました。

冬場も営業する

いつも寄るお土産店は開いていました。他は店じまいしていました。



いつも寄るおばちゃんのお店は冬場も営業しているそうです。宅急便など取り扱っていて地元の人達が利用するので店を閉められないと話していました。



切明温泉

「リバーサイド」へ

「とねんぼ」(秋山支所)に10時頃に到着。日帰り温泉は切明温泉の「リバーサイド」だと入れるらしい。秋山支所の方から教えてもらいました。「リバーサイド」へ連絡したら入れますとのことで行くことにしました。

12月に入ると秋山郷・栄村は雪がものすごく降る豪雪地なのでなかなか車では厳しい。だからラッキーでした。

もちろん、お昼は「ゆきぐに食堂」であっただかいうどんを食べました。食堂へ行くまで上り坂がある、そこには融雪用に大量の水が流れていきます。そこを歩いたら靴の中まで水が入りびしょ濡れでした。これは道路の凍結防止だそうです。びしょ濡れでした。冬場は雪が無くても長靴が必要だそうです。